

# I 総説

## A 開設科目および卒業要件単位数

- 1 開設科目** 授業科目は、基礎科目、専門科目、自由設計科目、および教職関連科目の4つの分野から構成されている。
- 2 卒業要件単位数** 卒業要件単位数は**124単位**であり、基礎科目、専門科目、および自由設計科目の3分野から**第1表**に示す規定単位数を修得しなければならない。
- 3 履修上の注意** 履修に当たっては、後述の履修単位制限および2年次から3年次への進級基準に十分注意すること。

第1表 経済学科 開設科目および卒業要件単位数

分野	区 分		規定単位数	
基礎科目	語学	英語	8	
		第二外国語	6	
	基礎数理		4 (注1)	
専門科目	ゼミナール		12	
	専門基礎必修科目	ミクロ経済学入門・演習 マクロ経済学入門・演習	6	
	専門基礎選択科目		16 (注2)	
	専門選択科目		34 (注3)	
自由設計科目	推奨科目	専門選択関連科目	20 (注4)	
		法学関連科目		
		教養科目		
	全学共通教育科目	リテラシー科目群		WRD、IT科目
		教養科目群		系列科目の一部 (注5)
		キャリアデザイン科目群 (注6)		
		国際交流科目群 (注7)		
	データサイエンス科目群 (注8)			
	一般科目	リテラシー科目群		外国語科目
		全学共通教育科目		教養科目群
スポーツ・ウエルネス教育科目 (注9)				
他学部開設科目 (注10)				
教職関連科目 (注11)		-		
合 計			124	

〔第1表の注意事項〕

- (注1) **基礎数理**の規定単位数を超えて修得した単位は、**推奨科目**に充当することができる。
- (注2) **専門基礎選択科目**の規定単位数を超えて修得した単位は、**専門選択科目**に充当することができる。
- (注3) **専門選択科目**の規定単位数を超えて修得した単位は、**推奨科目**に充当することができる。
- (注4) **推奨科目**の規定単位数を超えて修得した単位は、**一般科目**に充当することができる。
- (注5) 系列科目は推奨科目と一般科目に分けられる。詳細は、「経済学科授業科目一覧表第4表 (p.28)」を参照すること。
- (注6) **キャリアデザイン科目群**には、卒業要件単位に算入されない科目がある。履修規定を参照すること。
- (注7) **国際交流科目群**のうち、「留学対策科目」と「留学準備演習」は卒業要件単位に算入することができない。
- (注8) 【2017・2018年度入学者】**データサイエンス科目群**には、卒業要件単位に算入されない科目がある。履修規定を参照すること。
- (注9) **スポーツ・ウエルネス教育科目**は、**4単位**まで卒業要件単位として認められる。
- (注10) **他学部開設科目**は、**8単位**まで卒業要件単位として認められる。
- (注11) 教職関連科目の修得単位は卒業要件単位としては認められない。

**B**

**履修単位制限**

**1 履修単位制限**

授業時間外の学修時間を十分に確保し、各科目の学修効果を促進することを目的として、履修科目が過多にならないよう1年間に履修できる単位数の上限を定めている。  
1年次から履修計画を立て、確実に単位を修得していくことが大切である。

**2 履修科目登録  
上限単位数**

- ① 各年次において履修することのできる単位数の上限を、**48単位**とする。  
※1年次は、後期に英語（2単位）を履修するため、教務部で事前にダミーの科目を2単位分履修登録してある。
- ② 卒業要件単位として認められない科目は、以下の条件に当てはまる場合、①の単位数を超えて履修することが認められる場合がある。複数に該当する場合、超過可能単位数はいずれかの最大値が適用される。※教職課程については、該当頁を参照すること。
  - 1) キャリアデザイン科目群：「成城大学就業力育成・認定プログラム」の受講申請をした学生が、前年までの成績（GPA等）が一定の基準を満たしている場合（1年次はキャリアセンターが行う学力考査等で一定の基準を満たしている場合）
  - 2) 国際交流科目群：前年までの成績（GPA等）が一定の基準を満たしている場合（1年次は国際センターが行う学力考査等で一定の基準を満たしている場合）
  - 3) データサイエンス科目群【2017・2018年度入学者】：前年までの成績（GPA等）が一定の基準を満たしている場合

**第2表 特例措置により超過して履修することが認められる単位数**

	1) キャリアデザイン	2) 国際交流	3) データサイエンス	教 職	
				2019年度以降入学者	2018年度以前入学者
1 年	2	4	—	8	6
2 年	8	4	6	28	22
3 年	4	4	6	28	22
4 年	—	4	—	28	22

**C**

**2年次から3年次への進級基準**

2年次から3年次へ進級するには、基礎科目、専門科目、自由設計科目のそれぞれについて、2年次終了までに**第3表**に示す所定の単位を修得していなければならない。

**第3表 進級基準**

分野	区 分		単位数
基礎科目	語学	英語	10
		第二外国語	
	基礎数理		4
専門科目	ゼミナール	2年次ゼミナール	4
	専門基礎必修科目	ミクロ経済学入門・演習 マクロ経済学入門・演習	6
	専門基礎選択科目		8
	専門選択科目		6
自由設計科目	推奨科目		10
計			48

**【第3表の注意事項】**

- (注1) **基礎数理**の所定の単位数を超えて修得した単位は、進級に必要な**推奨科目**の単位数（10単位）に充当することができる。
- (注2) **専門基礎選択科目**の所定の単位数を超えて修得した単位は、進級に必要な**専門選択科目**の単位数（6単位）に充当することができる。
- (注3) **専門選択科目**の所定の単位数を超えて修得した単位は、進級に必要な**推奨科目**の単位数（10単位）に充当することができる。  
なお、専門基礎選択科目から充当した単位数がある場合も、その単位数と専門選択科目として配置された科目を修得した単位数とを合計して6単位を超えていれば、その超えた単位数を推奨科目に充当することができるものとする。